



沢田秀穂

メコン河下流々域とここにいうのは 同河がビルマ・ラオス・Mainland China 三国の境界点を過ぎてからの下流々域のうち ビルマ領に属する部分を除いた範囲であって そのほかなおこの流域に直接接する若干の地域も含めてある。

かねて10年以上も前からエカフェ事務局においては Dr. C. Y. Li つづいて筆者によりこの地域の地質・鉱産に関する資料が集められており 1964年にはすでに一応これをまとめた草稿ができていたが 公表するまでには至らなかった。しかしながら1968年9月公刊された Atlas of physical, economic and social resources for the Lower Mekong Basin の地質鉱産の部はアメリカ合衆国の Engineer Agency for Resources Inventories, Corps of Engineers と Tennessee Valley Authorityとによって本資料を十分に活用して作られている。

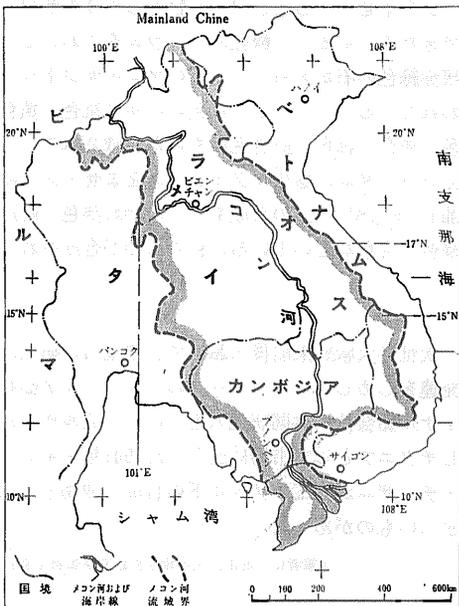
最近に至つて 本資料を一つの基礎資料として Geology and mineral resources of the Lower Mekong Basin and adjacent areas of Cambodia, Laos, Thailand and Republic of Viet Nam の一編がイギリス海外地質調査所(旧名)派遣の国連メコン委員会鉱物顧問であった Dr. D. R. Workman によって完成された。本編はもとより体裁はトーシャ版ずりのごく粗末なものではあるが 編者もいうごとく 地質の部については最近実施されたフランスのカンボジアにおける地質調査の結果が入っていないことなどもあって 最終的なものとはいえないが 鉱産資源の項については現在における最新かつ完璧に近い資料と考えられる。

筆者はその鉱産資源編の日本の方々にとって有用なことを信じ 地質調査所 日本鉱業会 日本鉱業協会 海外鉱物資源開発株式会社 金属鉱物探鉱促進事業団 東京地学協会 日本鉱山地質学会などの諸機関に送付方手配したが これら機関を利用しがたい方々の中にも本編に興味をもたれる方が多々あるうかと考え ここにその部分的訳出を試みることにした。読者の方々によって何らかのお役にたてば編者のみならず筆者たちもまたことに光栄かつ幸いと存ずる。なお本文中に筆者の私見の時に入る点ご諒承願いたく また原文中 Mainland China とあるは日本における現在の一般の用語に従えば中共または中国である。

鉱産物現概況

本域内における鉱産物の現在における概況は表1および2に示すとおりである。現在の所 本域に十分の量がないと思われている主要鉱産物としては 鉄鉱 ポークサイト 石油および肥料鉱物(磷酸塩鉱物 硝酸塩鉱物 カリ鉱物)があり 一方さかんに稼行されている鉱産物(おもにタイで)や今後 生産・輸出の増加するみこみの鉱産物も多い。

(筆者は元所員 現バンコク ECAFE 事務局)



第1図 メコン河下流流域を示す図

表1 メコン河下流々域鉱産物現概況(1)

既知鉱床でかなりの生産のあるもの またはみこみのあるもの	少量の生産あるもの	未開発既知鉱床で評価中または未評価のもの	他の金属鉱業の副産物として生産の可能性あるもの	鉱床は知られているが経済的価値ありと今の所思われないもの	本域では現在の所未知のもの
Antimony アンチモニー 1 T	Columbite-tantalite コルンブ石-タンタル石 T	Bauxite ボーキサイト	Beryl 緑柱石	Asbestos 石綿	Borates 硼酸塩
Barite 重晶石 1 T	Gold 金 C	Coal <sup>2</sup> 石炭	Cadmium カドミウム	Chromite <sup>2</sup> クローム鉄鉱	Cobalt minerals コバルト鉱
Clay (mixed) 粘土(雑) CLTV	Iron ore 鉄鉱 T	Copper 銅	Monazite モナズ石	Molybdenum モリブデン	Lithium minerals リンウム鉱(リシヤ雲母を除く)
Coal <sup>2</sup> 石炭 V	Kaolin カオリン T	Diatomite 珪藻土	Silver 銀	Muscovite mica 白雲母	Magnesite マグネサイト(菱苦土鉱)
Fluorite 螢石 1 T	Petroleum 石油 T	Feldspar 長石	Titanium (ilmenite) チタニウム(チタン鉄鉱)	Platinum 白金	Mercury minerals 水銀鉱
Gypsum 石膏 1 T	Phosphate rock <sup>2</sup> 燐鉱 CTV	Graphite 石墨	Zircon (industrial) ジルコン(工業用)		Montmorillonite clays モンモリロン石粘土類
Lead 鉛 1 T	Zinc 亜鉛 T	Iron ore 鉄鉱			Nepheline 霞石
Lignite 褐炭 T		Lead 鉛			Nickel minerals ニッケル鉱
Limestone 石灰岩 CLTV	略号:	Lithium mica リンウム雲母			Nitrates 硝酸塩
Manganese マンガン鉱 1 T	1: 輸出品	Pyrite 黄鉄鉱			Phosphorites (rock) 燐灰岩
Oil shale <sup>3</sup> 油母頁岩 T	2: 北ベトナムが主産国	Titanium (ilmenite) チタニウム(チタン鉄鉱)			Potash カリ(本文の岩塩の項参照)
Rock salt <sup>3</sup> 岩塩 T	3: 目下の所未利用	Zinc <sup>2</sup> 亜鉛			Pyrochlore バイロクロオア
Sapphire サファイヤ 1 CT	(北ベトナムはこの他、ボーキサイト、鉄鉱、錫、タンダステンを産する)				Sulphur 硫黄
Silica sand 珪砂 1 VT					Uranium minerals ウラニウム鉱
Tin 錫 1 LT					Vanadium minerals バナジウム鉱
Tungsten タングステン 1 T					
Zircon (gem) ジルコン(宝石) 1 CT					

表2 メコン河下流々域鉱産物現概況(2)

鉱産資源	カンボジア	ラオス	タイ	南ベトナム	
Ag 銀				小・過	N. V.
Asbestos 石綿	小・現	小・現	小・過 小・過 中・現	中・過	
Au 金					
Barite 重晶石	小・未				N. V.
Bauxite ボーキサイト	中・未	中・未	小・未	大・現	N. V.
Beryl 緑柱石					N. V.
Coal 石炭					
Chrome クローム					
Columbite-tantalite コルンブ石-タンタル石					
Copper 銅		中・未	中・未	小・過	
Diatomite 珪藻土			中・未	小・未	
Dolomite ドロマイト(白雲岩)	小・現	中・未	中・現	小・未	N. V.
Fe 鉄	中・未	中・未	中・現	小・未	
Feldspar 長石			小・過	大・現	
Fluorite 螢石			大・現	大・現	
Gemstones 宝石	大・現		大・現	小・過	
Graphite 石墨	小・未		小・過		
Gypsum 石膏		大・未	大・現		
K カリ					
Kaolin カオリン	中・未		小・現		
Lignite 褐炭		中・未	大・現	中・現	
Limestone 石灰岩	大・現	大・未	大・現		
Lithium リンウム			中・未		
Manganese マンガン	中・未	小・未	大・現		
Mica 雲母			小・未	小・未	
Molybdenum モリブデン	小・未	小・未	小・未	小・過	
Monazite モナズ石			小・未	小・未	
Natural gas 天然ガス					
Nickel ニッケル					
Oil shale 油母頁岩	小・未	中・未	大・未	小・過	
Pb 鉛			中・現		
Petroleum 石油			小・現		
Phosphate 燐酸塩	中・現		中・現	中・現	N. V.
Platinum 白金			小・未	中・未	
Pyrite 黄鉄鉱	小・未		中・未	中・未	
Rock salt 岩塩		小・過	大・未		
Sulphur 硫黄					
Sb アンチモニー	小・未	小・未	大・現		・大 中 小は鉱産資源の重要性の大 中 小
Silica sand 珪砂	小・現		大・現	大・現	・現 過 未はそれぞれ現在稼行中 過去にお
Sn 錫	小・未	中・現	大・現		いて稼行 現在・過去ともみる
Titanium チタニウム			中・未	中・未	べき生産のないことを示す
Tungsten タングステン	小・未		中・現	中・過	N. V.
Zinc 亜鉛	小・未	小・未	中・現	中・過	N. V.
Zircon ジルコン			小・未		・N. V. は北ベトナムにおける生産を示す